

90	かなり以前のことにありますが、小学校に新任で赴任した時は学級担任で、5年生7名を受け持ちました。その次の年もこのこども達を担任しましたので、2年間で7名のこども達と過ごしたことになります。ですから、それはもういろんなことがあり、楽しかったこと、失敗してしまったこと、彼らが大きくなってから出会ってこちらが助けてもらったことなど、7名のみんなとの思い出や出来事はたくさんたくさんあります。その後も、多くのこども達と出会ってきましたが、やはり最初の2年間のことが思い出されてなりませんね。	91	私は学校事務を担当しておりましたので、職員室で仕事をすることがやはり多かったですね。そのような中で、こども達とよく出会うのは、お金を納めに来てくれたり、名札などを買い求めに来てくれたりする時でした。そんな時は、ちょっと恥ずかしそうに、また、ちょっと照れくさそうにして私に話しかけてくれるのもかわいかったですね。今では、懐かしい思い出の一コマになっています。	92	中学校で勤務していた時、卒業式で卒業記念品目録を壇上へ上がって、目録の内容を読み目録を渡す役割の生徒に、当日目録を渡すのを忘れたことに気がつかないまま式が進み、何事もなかったように壇上へ上がり自分のハンカチを目録がわりにして、暗記していた内容を校長先生に向かって読み、ハンカチを演題に置いて自席に戻った女子生徒がいた。式が終わってから校長先生に聞き気がついた。(大謝りしたが笑って許してくれた)その時から、自分で考えることのできる生徒を育てようと思い指導しています。	93	一年生を担当した時、クラスで飼っていた生き物が死んでしまい、子どもたち数人と休み時間にお墓をつくりに行ったことがありました。最後に、何かお花を供えようということになり、子どもたちは校庭を探しに行きました。一人の女の子が、手の平に何かを包んで見せに来ました。それは、私から見ると小さな緑の雑草でした。「これはお花？」と尋ねると、その子は顔き、真ん中を指しました。すると、とても小さなバラの形になっていたのです。「きれいやから」との言葉に、私は目の醒める思いでした。子どもの感性の豊かさに感動したあの日のことを忘れることはないでしょう。
94	いつも、元気に挨拶してくれる伏南の児童みんな素直で伸び伸びと学校生活を送っています	95	いまでも、年賀状を毎年くれるので、嬉しく思っている	96	初任校で4年間担任した子どもたちです。	97	コロナに負けず、マスク、手洗い、うがいをしっかりと、笑顔で一生懸命生活発表会の練習を頑張っている可愛い園児達
98	コロナ化でタブレットでリモートで話す子どもたちから「学校いきたい」との一言がほっとした。	99	1クラス、40人くらいいて、毎日賑やかなクラスでしたが、卒業しても会いに来てくれたり、二十歳の時にも連絡をくれたりして、成長がわかり嬉しいです。	100	中学校入学のころから首の神経が圧迫され、右手に力が入らなくなるなったYさん。泣き言も言わず、自分の出来る事を精一杯がんばり、卒業するころには、スラスラ左手で字も書けるようになりました。常に前向きで、笑顔で頑張り続けていた姿が今でも目に浮かびます。	101	部活動でのことです。チームワークが、能力を上回る瞬間を見たときです。どう考えても、能力、体つき、人数、全て相手が上回っていても、最後まで諦めない姿勢、仲間を応援する声、そして絶対やってやるの気持ちで勝利した時です。泥まみれになって、ミスしても笑顔で声を掛け合い、最後まで立ち向かう姿は感動的でした。
102	厳しい境遇にも負けずに胸を張って生きている卒業生たちに再会すると、すぐにポロポロと涙が流れてきます。	103	今年度50歳になった教師として初めての卒業生。三笠中学校3年10組諸君。私と10歳違います。	104	出会った子どもたち全てが心に残っています。	105	初めて6年生を受け持った子供たちが、今年成人式を迎え、晴れ着姿を見せに来てくれた時に、子供たちの成長を感じることが出来、この職業につけた喜びを感じることが出来ました。

106	初めて6年生を担任した時の小柄な児童。恥ずかしがり屋で前に出るのがとても苦手でした。卒業後、殻を破ったように物事に積極的になったその子が高校生になって、気持ちの良い挨拶をしてくれた時のことは忘れられません。	107	これまで人前が苦手だった生徒が、様々なコンテストを通して人前で堂々と自分の意見を発表できるようになった生徒の成長が心に残っています。	110	卒業して5年あまり経ちますが、担任していた子が未だに年賀状をくれます。	108	雪の日に休み時間全力で外に駆けて行き、真っ赤な鼻をしながら教室に帰ってきた。教室にいた教師が寒いと言うと、先生大丈夫！と鼻水を垂らしながら抱きついてきてくれたこと。	114	大人の生徒さん達から学ぶ事がたくさんあり、とても良い勉強になります。	109	卒業から20年以上経って、おじさん、お婆さんになった教え子たちから連絡をもらったり、食事をすることって楽しいですよ。	118	楽しい子どもたちで、いつも仮面ライダーに、変身します。癒されています。	111	卒業後、ずっと付き合いが続く生徒が沢山いらっしゃいます。いろんなこと助けていただいています。心から感謝しています。	112	卒業式の時に、サプライズで花束を用意してくれました。	113	体育大会の前に、学級の生徒が学校に来ていない生徒に手紙を書いた。それによって、ほとんど登校来ていなかった生徒が体育大会の当日、体育大会の本部に来て少し体育大会を参観することができた。	114	毎日の子どもたちの笑顔にいつも元気を与えてもらっています。	116	学校行事に一生懸命	117	低学年から近所でも評判の賢い子どもを担当しましたが、灘から東京大学に進学しました。	120	偏食があり、給食が苦手だった子が、寄り添い励ますことで、少しずつ苦手を克服し、給食時間が苦痛な時間でなくなったこと	122	<p>「恐怖心に打ち勝つ勇気をくれる、友達の応援」</p> <p>今思い出しても、目頭が熱くなりますが、小学3年生を担任していた時のこと。体育の時間に、跳び箱への恐怖心が大きくて、足でまたいで行っても通ってしまえそうな高さのとび箱すら跳べなくなっている児童(かずき)がいました。その児童を保育園から知っている、もう1人の児童(さくら)が自分の練習は早々に切り上げ、かずきのそばで跳び方を教えたり、応援の声かけをしたりしていました。</p> <p>とび箱が得意な子たちは、楽しそうに1番高いとび箱の段に挑戦しています。しばらく、さくらとかずきの様子を遠くから見ていると、かずきがだんだんと跳べるようになり、なんと1番高い段の一つ手前まで跳べるようになっていました。</p> <p>授業終わりのチャイムがなりましたが、かずきは1番大きな段に挑戦したそうにしていました。この頃には、クラス全員がかずきの応援モードです。周りの子たちも「先生、跳ばせてあげて」という雰囲気。</p> <p>たった数十分の間に、かずきは恐怖心を克服し、挑戦したい気持ちに変わっていたのです。とはいえ、飛んだことのない高さでは、恐怖心と挑戦したい気持ちが混ざっていたことでしょう。</p> <p>もちろん、私はとび箱の側でスタンバイしつつ、かずきは1番高い段に挑戦！見事成功して、クラス全員が大喜びでした。</p> <p>子どもたちの成長を間近で見られるのは、小学校教員をしていて幸せな瞬間です。その中でも、こんな感動の体験をさせてもらえて、一生忘れません。</p> <p>友だちの力は、本当に大きいものです。子どもたち同士の絆を育むことの大切さも改めて感じました。</p>	121	本校に赴任して、担任した生徒が今年成人式を迎えたが、色々とののかかるメンバーでした。	123	毎日の給食を美味しい、美味しいといっぱい食べる生徒
-----	---	-----	--	-----	-------------------------------------	-----	--	-----	------------------------------------	-----	--	-----	-------------------------------------	-----	---	-----	----------------------------	-----	---	-----	-------------------------------	-----	-----------	-----	---	-----	---	-----	--	-----	--	-----	---------------------------